



名古屋芸術大学音楽学部公開講座

東京芸術大学作曲科教授

小鍛冶 邦隆氏 公開講座

「対位法とフーガ」について

対位法の基礎からフーガの奥義まで網羅しているテキストを使用しながら、バッハのインヴェンション、シンフォニアやフーガに関する理解や演奏法について、わかりやすく説明します。



小鍛冶 邦隆

1955年生まれ。東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。同大学院作曲科を経てパリ国立高等音楽院作曲科でメシアン他、およびウィーン国立音楽大学指揮科でスィトナーに学ぶ。クセナキス国際作曲コンクール(パリ)第一位、東京現代音楽アンサンブルC0meTのディレクター・指揮者として第3回佐治敬三賞(室内オーケストラの領域Ⅲ)受賞他。著書に「作曲の技法 バッハからウェーベルンまで」(音楽之友社)、「作曲の思想 音楽・知のメモリア」(アルテスパブリッシング)、CDに「ダブル・レゾナンス 小鍛冶邦隆作品集」「銀色夏生の詩によるマドリガルⅠ-Ⅳ」(ALM records)。現在東京芸術大学作曲科教授、慶應義塾大学文学部非常勤講師。

※ 本講座で使用するテキスト：ケルビーニ『対位法とフーガ講座』(アルテスパブリッシング)

2014年 **7** 月 **3** 日(木) 15:00～

名古屋芸術大学音楽学部 2号館中アンサンブル室

入場無料・全自由席

●どなたでもご入場していただけます●

※演奏学科の3年生は必修です。出席をとります。

お問合せ：名古屋芸術大学音楽学部演奏課 ☎0568-24-5141